

暑かった夏も過ぎ、さわやかな秋空のもと、家族で、また友達など秋の風物や味覚を求めて野や山へと行楽シーズンがやってきました。

例年この季節になりますと、マイカーなどを利用して慣れない所へ、しかも長距離のドライブをする機会が多くなるため、これに伴って交通事故が増加する傾向にあります。

九月二十一日から九月三十日まで、全国いっせいに秋の全国交通安全運動が行われます。

運転者はもちろんのこと、町民がそれぞれの立場から交通安全意識の高揚を図り、減少傾向の定着しつつある交通事故をさらに減らし、特に死亡事故の抑止にいつそ



うの努力をしましょう。

この運動の重点は次のとおりです。

- 一 子供と老人の交通事故防止
- 二 自転車及び原動機付自転車の安全利用の促進
- 三 交通安全確保とシートベルトヘルメット着用 の推進。

運転者の目配り

四・三・二・一

車を運転中は、前方はもちろん後方、左右にも、まんべんなく目を配らなければなりません。そのためにはルームミラー、サイドミラーが大切です。

ところで、あなたは、どんな割合で前後左右に視線を配っていますか。

役所や公社等の仕事について

▼説明になつてくれない

▼このようにしてほしい

▼処理がまちがっている

▼どうすればよいかかわらない

こんな時・行政相談員に

▼処理がおかしい

▼不親切な扱いを受けた

▼などの苦情や要望を持つ

ていても、直接関係の役所や公社等には申し出にくいとか、どこに行けばよいか分からなとか、こういう方はいらっしゃいませんか。行政管理局では、このような方の苦情や要望を受け、解決や

ることをお勧めしますが、手紙や電話でも結構です。(手紙の場合は住所、氏名、電話番号を忘れず記入下さい)

取扱いは無料で、自分の名前を出したくない方、申し出の内容を秘密にしたい方は、「ご希望に沿うようにいたします。

(書式 図)

〒..... 桜

郵便番号、住所

氏名

年月日生

職業

(約33センチメートル)

「安全運転に欠かせない目の配り方は、四・三・二・一を一つの目安に」とある教授は言っています。ドライバーが、自分の車の「運転環境」を知るために必要な目の配りを「十」としますと、前方.....四・後方.....三・右サイド.....二・左サイド.....一の割合で視線を「配分」しながら、前後左右の状況を的確につかんで運転することが大切、というわけです。

初心者の事故に共通してみられる原因の一つに、前方にばかり注意力が集中して、後方および左右への目の配りが足りなくなるといふケースがよくあります。

運転中は「注意力を集中して.....」といいますが、むしろ「注意を配る」といった方がよいように

すか。

四・三・二・一を一つの目安に」とある教授は言っています。ドライバーが、自分の車の「運転環境」を知るために必要な目の配りを「十」としますと、前方.....四・後方.....三・右サイド.....二・左サイド.....一の割合で視線を「配分」しながら、前後左右の状況を的確につかんで運転することが大切、というわけです。

初心者の事故に共通してみられる原因の一つに、前方にばかり注意力が集中して、後方および左右への目の配りが足りなくなるといふケースがよくあります。

運転中は「注意力を集中して.....」といいますが、むしろ「注意を配る」といった方がよいように

詠進歌

今年のお題は「桜」

昭和五十五年歌会のお題は、「桜」と定められました。

○詠進要領

①自作の歌で一人一首とし、未発表のもの。

②用紙は、半紙(留字用紙)に毛筆で自書のこと。

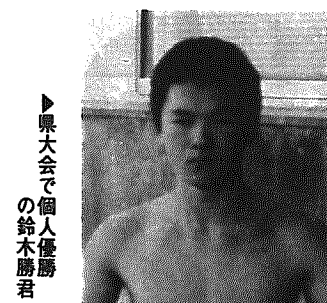
③書式は半紙を二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所・氏名を記載のこと。

④詠進期間は九月一日から十月十一日まで。

⑤花木の桜ですが、花と詠むのは、ふさわしくありません。

※詳細は千代田区千代田一丁目一宮内庁あて、返信用切手(五十円)を同封し、九月末日まで問い合わせください。

(約24センチメートル)



▶県大会で個人優勝の鈴木勝君

黒中相撲部また快挙 県大会で完全優勝



▲関東ブロック3位入賞のメダルを胸に喜びの各選手

関東ブロックでは 三位に入賞

八月四日、新潟市営相撲場で開かれた「新潟県中学校総合体育大会」相撲の部で、見事完全優勝を成しとげました。

前回は(二四七号)でお知らせしたとおり、全国大会予選兼新潟県大会で見事優勝、県代表として蔵前国技館へ、総体では、決勝で佐渡赤泊中を二対一で降し、団体優勝を飾るとともに、個人戦でも、

鈴木 勝君(二年)が個人優勝、五位に源川良典君が入賞しました。(黒中は、総体で四度目、二年ぶりに優勝旗を奪還しました)

なお、総体で優勝したため、関東ブロック出場権を得、八月十三日、神奈川県川崎市相撲場で、一部九県から四十校が出場して行われた大会で、団体三位に入賞、メダルを獲得しました。

日常のあいさつ 「どうも」で済まさないように

正しい敬語 7

わたしたちは、日常、いろいろな人いろいろな場所であいさつします。親しみや敬意をこめたあいさつ言葉は、円滑な人間関係を作り出す上で欠かせないものです。

「お尋ねございます」

「暑いですね」

「よく降りますね」

「本当によく降りますね」

こんな何でもない時候のあいさつが、お互いの心の隔てを取り除いてくれます。

「失礼ですが.....」

「恐れ入りますが.....」

知らない人に話しかけたり何か尋ねたりするときには、こういう言葉がクッションの役目します。親しい間柄では「じゃあね」式

のくだけたあいさつもいいでしょうが、目上の人や、さほど親しくない人に対しては、きちんとした丁寧なあいさつをすることが、あたりまえのことです。これがあいさつ敬語の基本です。「どうも」ですまさないで、「どうもありがとうございました」と折り目正しくいへばいいです。

また、相手のあいさつに対しては、はっきり言葉に出して答えることが大切です。ただうなずくだけ、笑顔でこたえるだけでは、相手の人は物足りない気持ちになるものです。

そのほか、どんなありふれたあいさつでも、言葉の調子や表情で相手に与える印象が違ってきました。いつも明るい、生き生きとしたあいさつをするよう心がけましょう。

春季野球大会 横綱に北斗クラブ

五月二十日から始まった、町野球連盟主催の春季大会は、七月二十九日に決勝戦が行われ、Aクラスは北斗クラブが優勝、Bクラスは十六チームで争われ北進会、Cクラスは二十チームが出場しライセンズがそれぞれ優勝をかざりました。

成績は次のとおり

○Aクラス

優勝 北斗クラブ

二位 フェニックス

三位 柳田パバース

○Bクラス

優勝 北進会

二位 大洋クラブ

三位 興野ワイルズ

○Cクラス

優勝 ライセンズ

二位 吉川生コン

三位 寺地団地

第三回 早起き大会は 諏訪シニアーズ

第三回町民早起き野球大会も、四十七チームが参加して星のつぶし合いが行われましたが、諏訪シニアーズが優勝をさげました。

成績は次のとおり

○優勝 諏訪シニアーズ

二位 木場K・Sスターズ

三位 柳田パバース

同 栄町チーム